

こちら特報部

内部被ばく詳しい沢田昭「名古屋大名誉教授も『三ミリシーベルト』という数字だけで安心と判断するのは早計だ」と指摘する。

WBCはガンマ線しか検出できない。「センシウム137はベータ崩壊するが、この際に放出されるベータ線は検出することができない。ガンマ線よりもベータ線の方が射程が短いため、絶えず近くの遺伝子に当たり傷つけやすい」という。

「WBCで測定した値には、半減期が短いヨウ素や検出されないベータ線の影響が考慮されていない。これでは科学的に被ばく量を見ることができない。当時の行動なども含めた総合的で丁寧な判断が大事だ」とする。

「継続的に検査をするなど長期にわたって健康管理を続けるべきだ。がんや甲状腺異常などの疾患も早期に発見できれば、治療する確率が高くなる」

「そもそも生涯被ばく線量を算出すること自体が疑問だ」と話すのは、矢ヶ崎克馬・琉球大名誉教授だ。

矢ヶ崎氏は半減期が八日と短いヨウ素の影響に

ついて危惧する。 Chernobyl事故では、ヨウ

素が原因とみられる子どもの甲状腺の病気が事故の損壊などを表面に出でこない。いわば正確では

ない検査で「安全だ」と認定NPO法人「日本チ

エルノブイリ連帯基金」と信州大病院が福島県内の子ども百三十人を対象に実施した健康調査では、甲状腺ホルモンが基準値を下回るなど十人の甲状腺機能に変化が見られた。

ところで、生涯の年間被ばく線量を、ベクレル(放射能の強さや量を表す単位)に換算するとどうなるのだろうか。

福島県地域医療課によると、国際放射線防護委員会(ICRP)の報告に基づき、年齢ごとに係数で変換している。

今回の検査で三ミリシーベルトと仮定して換算してみると、センシウム134、137を合わせて一二六〇も、絶えず遺伝子が傷つけることになる。七歳児の平均体重(二四キロ)で割ると、一キロ当たり五一

「放射能から子どもの命を守りたい！」
会津放射能情報センター
放射能から子どもの命を守る会・会津



換算すると1260ベル

よみがえる



話題の発掘

66年ぶり福岡収容所再訪



話題の発掘

戦時中に日本軍の捕虜となり、福岡県大牟田市にあった「福岡捕虜収容所第十七分所」で炭鉱の強制労働に従事させられた元米兵のロイ・フリースさん(71)、米カリフォルニア州在住)が、六十六年ぶりに同市を訪れた。収容所の跡地で「もう許しているが、つらい思い出がよみがえてくる」と語った。

フリースさんは一九四九年、収容所があった新たた。懲罰房に三日間閉じ込められ、飲まず食わず。ナンバー「百七十九」で身動きが取れず、被災地入りを断念。だが、昨年三回の出張で見た街の様子を思い浮かべながら、震災後の日本と日本人の姿を東京から伝えた。

帰国後、「今度は友だ

ちと一緒に行きたかった」という思いが膨らんだ。友人たちもかつての彼と同じく、特に日本に興味があつたわけではなくたが、駅の券売機の横にある、傘を引っ掛ける小さなくぼみなどを目にし、「日本ではどこでも細かい気配りがなされている」と気がついた。

そして3・11。所属する雑誌がすぐに彼を送りこんだが、日本語ができる。その後二回出張した。日本取材で昨年初訪日。日本に遊びに行った、若い中国人記者と話をした。

予定よりも宿の予約もすべて自分でやつた。箱根があるのに素敵だと知つてれば、もっと時間を取つたのに」と、ちょっとびり後悔もある。でも、ネットで読んだ台湾人の指南通りに高速バスを乗り換え、御殿場のアウトレットセンターで買い物をしたと満足げ。中国語と英語しかできない彼らにすれば上出来である。

この休みに日本を訪れた記者たちは他にもいました。観光業が落ち込んだ日本にとって、こんな

「自前の熱意」はありがたい。彼らに頼めば喜んでお手伝いしてくれると思つんだけどなあ。(北

京在住フリーライター)

66年ぶりに捕虜収容所跡地を訪れたロイ・フリースさん=福岡県大牟田市

べる団体「POW研究会」によると、約三万人の捕虜は国内の約百三十カ所の収容施設に送られ、特に多かったのが福岡県内の炭鉱で、施設は十カ所あったという。

フリースさんは「大牟田の空襲を記録する会」の諸岡研介代表(セミ)と面会した。四五年六月十八日の空襲で自宅が全焼した諸岡さんは「中学二年のとき、トラックの荷台に瘦せこけた男たちがびつしきりと立っていたことを覚えていた」と語り掛け、握手を交わした。

「六十六年前の出来事は忘れてはいけない。ただ憎しみではなく、親しみにえて、不理解な戦争を一度としない」と語り掛けた。

「強制労働はきつく、十七人の捕虜が収容されたが、すっかり消えた」と話した。

山里に住む釣りの師に、今年こそはキノコワークの辺見妙子さんは「内部被ばくは、線量の選別を習おうと樂しくしているだけ」。だが、温厚な毛針の名人は、きっと深く傷つい月もあとわずか。秋が駆け足で過ぎていく。そんなとき、キノコからセンシウム検出の悪い知らせが飛び込んできただ。温厚な毛針の名人は、走り回っているうちに十口にした。

BS

ニシオ

MROラジオ 1483

5.00
25
6.00
50
7.00

KNBラジオ 738

5.00
30
6.45
7.25

FM石川 80.5 85.5 78.4 89.9 81.9

宗△歎異抄△風物誌
堀尾△昭輝△宗教
笑顔△昭輝△30周年
音楽△音楽△健康

FMとやま 82.7

5.00
6.00
9.00
30

番組は放送局の都合により変更される場合があります

内部被ばく生涯3ミリバルト考

福島県が二十日に発表した県民の内部被ばく調査で、双葉町の四十七歳の男児一人の被ばく線量が生涯で三ミリバルトと推定されるとされた。県は「健康に影響が及ぶ数値ではない」と説明。だが、男児がどこでどのように被ばくしたのかなど重要な情報は伏せたままだ。「生涯に三ミリバルト」という耳慣れない数字は、本当に安全を意味するかという疑問も残る。

(小国智宏・小倉貞俊)

県の内部被ばく調査は、計画的避難区域など比較的線量の高い十三市町村の住民を対象に、六月二十七日から始まりた。九月三十日までに検査した四千四百六十三人のうち、男児一人が三ミリバルト、二ミリバルトが八人、一ミリバルトが六人。残りの四千三百四十七人が一ミリバルト未満だった。

各市町村が子どもや妊婦を優先に抽出し、順次、検査を行っている。

放射線医学総合研究所と日本原子力研究開発機構で、内部被ばくの検査機器ホールボディーカウンター(WBC)を使って行う。体内に残存して月十二日に一回で体内に取り込んだと仮定して、もはセシウムを体外に排

	預託実効線量(mSv)				
	1未満	1	2	3	合計
川俣町	213(人)	—	—	—	213
浪江町	2608	5	2	—	2615
飯舘村	627	—	—	—	627
広野町	5	—	—	—	5
楢葉町	372	1	2	—	375
富岡町	16	—	—	—	16
川内村	155	—	1	—	156
大熊町	173	—	1	—	174
双葉町	104	—	2	2	108
葛尾村	159	—	—	—	159
相馬市	2	—	—	—	2
南相馬市	8	—	—	—	8
田村市	5	—	—	—	5
合計	4447	6	8	2	4463

※「預託実効線量(mSv)」とは、体内から受けると思われる内部被ばく線量について、成人で50年間、子どもで70歳までの累積線量を表したもの

ホールボディーカウンターによる内部被ばく検査の結果



公開された内部被ばくの検査機の「ホールボディーカウンター」。ベッドの下に放射線検出器が設置されている(被験者は放射線医学総合研究所の職員)=千葉市稻毛区の同研究所で

いるセシウム137とセシウム134を測定。生で七十歳までの間の累積被ばく量は、福島第一原子力発電所事故によるもので、内部被ばくの検査結果に換算して算出した。1号機が水素爆発した三月十二日に一回で体内に取り込んだと仮定して、もはセシウムを体外に排

出生するものが大人より早いため、今後は検出されない可能性がある。この場合は、三月十二日に行動をともにしていた大人的被ばく線量一〇〇ミリバルトを合わせ規制値を「累積測定値をもとに推定する」という評価案をまとめている。

生涯の被ばく線量をめぐらしくて、内閣府の食品安全委員会が七月下旬、外部被ばくと内部被ばくの規制値を「累積測定値をもとに推定する」という評価案をまとめている。県地域医療課は「生涯

汚染長ければどんどん蓄積

で三ミリバルトという値は、この規制値一〇〇ミリバルト比べてもかなり低い。検査機関からも健康には影響は及ばないと回答を得ている」と説明する。だが、「放射線規制値のウソ」(緑風出版)を著した九州の大長山淳哉准教授は、「そもそも一〇〇ミリバルトという数値がうなづけない。発がんなどに『これ以下ならがんにならない』というしきりはない」と強調する。

また、「三ミリバルトはあるまでも現時点で計った値から推定していることを忘れてはいけない。食品などを続いており、汚染が長時間かかることになる」と話す。食品安全委員会は十月中旬に結果を答申し、食品の規制値を作りへの議論も厚労省に最終的な評価が始まる。長山氏は「牛肉などでは一キログラム当たり五百〇〇円となっており、生涯被ばく線量を減らさなければならぬ」と力を込め

る。この地方の特徴として、石灰石で造られた中世の町並みにした。静か

三ツ奉ベータ線考慮せず

で三ミリバルトという値は、この規制値一〇〇ミリバルト比べてもかなり低い。検査機関からも健康には影響は及ばないと回答を得ている」と説明する。だが、「放射線規制値のウソ」(緑風出版)を著した九州の大長山淳哉准教授は、「そもそも一〇〇ミリバルトという数値がうなづけない。発がんなどに『これ以下ならがんにならない』というしきりはない」と強調する。

また、「三ミリバルトはあるまでも現時点で計った値から推定していることを忘れてはいけない。食品などを続いていることになる」と話す。食品安全委員会は十月中旬に結果を答申し、食品の規制値を作りへの議論も厚労省に最終的な評価が始まる。長山氏は「牛

肉などでは一キログラム当たり五百〇〇円となっており、生涯被ばく線量を減らさなければならぬ」と力を込め

番組表の記号の見方

- ②2カ国語放送 多音声多重放送 SS臨場感のある高音質
- 手話放送 国文字放送 SIS2
- S3標準画質による複数番組同時放送 データ放送 双方向

人生の樂園

静岡県南伊豆郡

し、パン工房を始めた夫妻の第二の

英國のコツツウウ地方を竹内海南江

世界・ふしぎ

MRC・チュー

ル

ル

